



# 首里城復元へ向けた取り組み

～うるし塗り下地原料“ニービの粉”  
製作ボランティア2万3千人が参加～

No.8

正殿完成へ向けて復元工事を進めている首里城では、幅広い人に復興のプロセスに参画してもらい地域振興・観光振興へ寄与できるよう、ボランティア活動の取り組みを行ってきました。

今回、第3弾のボランティアとして令和5年1月～5月、火災前の首里城正殿の礎石を、うるし塗りの下地原料となる「ニービ（細粒砂岩）」の粉々に再利用するための製作ボランティアを行いました。

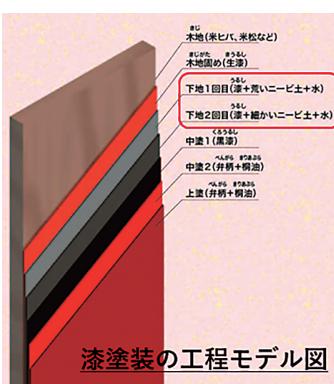
**【第2弾 首里城正殿赤瓦のシャモット製作ボランティア】**

- ・開催日時：令和3年11月（4期）に分けて実施
- ・実績：延べ約4千3百人参加、約2万4千枚の瓦を処理



**【第1弾 首里城赤瓦漆喰はがしボランティア】**

- ・開催日時：令和2年3月～令和3年11月（4期）に分けて実施
- ・実績：延べ約4千3百人参加、約2万4千枚の瓦を処理



**「うるし塗りの工程とニービの粉製作ボランティアの役割について」**

首里城正殿のうるし塗りでは、強固な下地を形成するためにニービ土（黄褐色～茶色の細かい粒からなる砂層かられる土）を原料として使用しています。火災により破損した柱の礎石（ニービのフニという細粒砂岩）を細かくすり潰してニービの粉とし、それをニービ土とうしに混ぜることで、新しく作る正殿のうるし塗装の下地材の原料として使用することができます。

ボランティアは首里城の下之御庭で行われ、期間中は幅広い年齢層の方々の参加があり、1日あたりにすると平均約2百名、約5～6kgの細かく碎かれたニービの粉が生産されました。参加者アンケートでは「ボランティアが出来て子供にいい経験をさせる事が出来て母として嬉しい」、「観光客も参加できるボランティアは体験としてとても印象に残って良いと思います」、「復興した姿を楽しみにしています」等、ボランティア体験の感想や首里城完成を待ち望む温かい声を多くいただきました。

今回、延べ約2万3千人の参加があり、約705kgと十分な量のニービの粉を製作することが出来ました。参加者の方々におかれましては、ご協力いただき心から感謝申し上げます。

今後も、ボランティアやイベントの開催等に取組み、令和8年の正殿完成へ向けて、首里城復興を盛り上げてまいります。



お問合せ先  
開発建設部 建設産業・地方整備課  
098-866-1910